



あんずの丘に建つ巨大な銅像は、
戦国時代の地元の英雄・・・

隈部氏館跡

豊臣秀吉に抵抗した 戦国時代の雄「隈部親永」



戦国時代末期、天正15年(1587)に、豊臣秀吉より肥後国主を命じられた佐々成政(さつさなりまさ)による檢地に反発し、山鹿・菊池地方を治めていた隈部親永ら肥後国人(国衆)たちが反乱を起こす。「肥後国衆一揆」である。親永は山鹿市城地区にある城村城(じょうむらじょう)に籠り、果敢に抵抗。当時、京都で大茶会を催していた秀吉は、国衆一揆の報を聞くと急ぎよ茶会をとりやめ、対応にあたったといわれる。



隈部氏館跡(国指定史跡)

圧倒的な秀吉の軍勢の前に、最後には降伏する。その後、福



「枳形」といわれる防御施設

元々隈部氏は、大和源氏の宇野親治(うのちかはる)／山鹿温泉発見の伝説もある)を祖とするともいわれ、菊池氏の家老であった。親永の頃には、菊池氏は滅び、山鹿・菊池一帯まで勢力を広げていた。

山鹿市菊鹿町上永野(かみな

がの)地区にある永野城は「隈部氏館跡」といわれ、今も礎石建物跡や庭園遺構などを見ることができ、中世の居城跡。「中世肥後を代表する国人隈部氏の居館であり、戦国時代の国人領主の居館の様相を知る上で貴重」として国指定史跡となっている。ここは山の中腹に位置し、眺望が素晴らしい。治めていた菊鹿(きくろく)平野を眼下に望め、城主の気分も味わえる。



館跡の北側に集められた隈部親永とその一族の墓所

また、隈部氏館跡に向かう途中には、「伝隈部親永の刀傷」と呼ばれる石が伝わっている。地元の古老の話によると、戦に出陣するときに、家来たちの面前

で、名刀で石を切って見せたとされている。裂けるというより、傷が入っている石である。親永は剣の腕前にも定評があった。



伝隈部親永公の刀傷

親永は、豊臣秀吉に果敢に立ち向かった地元にとっての英雄である。その象徴として、複合型観光施設「あんずの丘」の公園内には、巨大な銅像が建てられている。熊本県内の武士像としては最大級。その姿には領主として望んだ平穏な領地と領民への思いやりが表現されている。

城村城跡



隈部親永最後の抵抗の地

山鹿市城地区にある「城村城跡」は、隈部親永の子である親安の居城だった。国衆一揆時には、地域住民含め総勢一万五千人が籠城し、秀吉の軍勢に立ち向かったと伝わる。今は跡地に看板等が立つのみで、近くには県外からも利用者が多い「平山温泉」がある。

清潭寺



庄巻の十六羅漢がある隈部氏の菩提所

隈部氏館跡から車で10分ほど。同地区内の細い道を進むと六角形の古刹がある。隈部家の墓地に隣接し、本堂内には、面山和尚が享保9年(1724)に作ったとされる十六羅漢が並んでいる。

PICK UP!



農産物直売所あぶりい
営 / 8:00~17:00
休 / 第2火曜日、年末年始
問 / 0968-48-3100 (代表)
※営業時間、店休日は施設により異なります。



遊ぶ、食べる、体験する。
山鹿市特産工芸村「あんずの丘」
山鹿市菊鹿町にある複合型観光施設「あんずの丘」。敷地内には、大型遊具等のある公園、農産物直売所、食事処、スイーツ工房、各種体験施設などがある。
また、約800本のあんずが無農薬栽培されており、3月には花を咲かせ、6月には収穫が行われる。